

令和6年度
第1回 館林市「日本遺産」推進協議会
議案書



令和5年度事業報告について

期日	事業内容	備考
令和5年度	各事業実施 ・人材育成事業 ・普及啓発事業 ・情報発信事業 ・活用整備事業	別紙「令和5年度 主要事業報告」の とおり
5月14日	日本遺産「里沼」ステップアップ講座 【第1回】「徳川四天王に学ぶ館林城下町のまちづくり戦略」	善導寺
6月18日	日本遺産「里沼」ステップアップ講座 【第2回】「館林城主榊原家3代と女性たち」	善長寺
6月26日	第1回館林市「日本遺産」推進協議会(全議案全員承認) 議案第1号 令和4年度事業報告について 議案第2号 令和4年度収支決算報告について	通常開催
7月17日	日本遺産「里沼」ステップアップ講座 【第3回】「館林城絵馬と絵図で読み解く館林城の変遷」	尾曳稻荷神社
11月4日・5日	日本遺産フェスティバルin桑都・八王子 ・ブース出展等による「里沼」PR ・群馬県立大泉高等学校、渡良瀬くらぶによるワークショップ	東京都八王子市 東京たま未来メッセ
11月8日～12日	第9回群馬フェア2023inイオンモール太田 ・ブース出展等による「里沼」PR	群馬県太田市 イオンモール太田
2月10日～12日	日本遺産の日記念イベント ・ブース出展等による「里沼」PR	東京都千代田区 JR有楽町駅前広場
2月18日	両毛3市日本遺産こどもサミット 『好きです！日本遺産のあるわたしたちのふるさと』 ◆こどもたちによる発表 【テーマ】紹介します！わたしのまちの日本遺産 ◆パネルディスカッション 【テーマ】日本遺産が育むこどもたちの“郷土愛”	館林市楠町 アゼリアモール A館1階 アゼリアホール
3月10日	田山花袋作品朗読プロジェクト ・群馬県立館林女子高等学校・関東学園大学附属高等学校による朗読発表会	館林市立図書館 2階 視聴覚室
3月	第2回館林市「日本遺産」推進協議会 議案第1号 令和6年度事業計画について 議案第2号 令和6年度収支予算について 報告事項その1 日本遺産「里沼」の近況報告について 報告事項その2 令和7年度日本遺産総括評価・継続審査制度について	書面開催

■歴史文化部会

1 「里沼」ランドナビゲーター育成支援事業【人材育成事業：文化振興課】

既存ガイド団体等と連携しながら、活動者に館林市の魅力を発信し、市内観光を総合的にプロデュースする人材を育成する事業。

[1]日本遺産「里沼」と館林市の紹介(館林観光ボランティアガイドの会)

日本遺産認定以後、館林観光ボランティアガイドの会にて自主的に作成した案内シートやガイドコースを活用した沼ごとの散策講座開催。市内小・中学校総合学習等との事業連携を図った。

[2]日本遺産「里沼」ステップアップ講座(全3回)「徳川四天王榊原康政と館林城」

日本遺産「里沼」を支えるランドナビゲーター人材の発掘・育成を目的として「徳川四天王榊原康政と館林城」をテーマに構成文化財の現地学習講座を開催した。

【第1回】「徳川四天王に学ぶ館林城下町のまちづくり戦略」

■期間:令和5年5月14日(日)14:00-15:30 ■会場:善導寺 ◆参加者:32名

【第2回】「館林城主榊原家3代と女性たち」

■期間:令和5年6月18日(日)14:00-16:00 ■会場:善長寺 ◆参加者:28名

【第3回】「館林城絵馬と絵図で読み解く館林城の変遷」

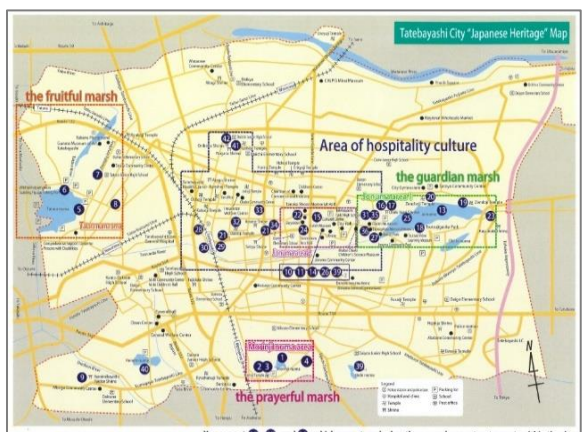
■期間:令和5年7月17日(月・祝)14:00-16:00 ■会場:尾曳稲荷神社 ◆参加者:29名

[3]インバウンド来訪者向け多言語マップ製作委託業務

館林市地形図及び日本遺産「里沼」構成文化財位置図の多言語化・多文化化を進めることで、インバウンド来訪者の満足度及び回遊性向上を図った。

※対象言語:英語・繁体字・簡体字・タイ語・スペイン語

概要



事業費 291,469円

2 館林市「日本遺産」地域プロデューサー活動支援事業【人材育成事業：文化振興課】

情報発信・地域活性化・人材育成・観光・地場産業・歴史文化・地域特色(里沼)における全7分野の事業展開を促進するため、館林市「日本遺産」地域プロデューサーの活動を支援する事業。

[1]日本遺産「里沼」商品造成・ワークショッププログラム検討委託業務

地域プレーヤー 荒畑氏(渡良瀬くらぶ代表)による「里沼」構成文化財のひとつ「茂林寺沼及び低地湿原のヨシ」を活用した商品開発及びワークショッププログラムを検討し、積極的な事業展開を図った。

■成果物:①ヨシコースターづくり、②ミニヨシ灯りづくり、③ヨシの壁飾り

[2]日本遺産「里沼」フィールドワーク(現地調査)委託業務

地域プロデューサー 橋本氏が教員を務める武蔵野大学サステナビリティプロジェクトラボと連携し、日本遺産「里沼」構成文化財のひとつ「茂林寺沼」を会場にフィールドワークを行う。フィールドワークにおいて、地域住民や地元高校生等と交流を図るとともに「里沼」を取り巻く社会(環境)の課題解決に向けた方策を検討した。

[3]日本遺産「里沼」イラストマップ作成委託業務

地域プレーヤー小野氏(イラストレーター)による「里沼」イラストマップ(茂林寺沼・多々良沼)を作成し、来訪者の周遊性や満足度向上に繋げた。

■成果物:①祈りの沼・茂林寺沼エリアイラストマップ、②実りの沼・多々良沼エリアイラストマップ

概要



事業費 988,311円

3 官学連携「SATO-NUMA」事業【人材育成事業：文化振興課】

まちづくり・観光系学部がある大学(学生・留学生)と連携し、若者・外国人の意見を反映させながら、解説方法・内容を検討するワークショップを行う事業。

[1]日本遺産「里沼」連携事業(群馬県立大泉高等学校・関東学園大学)

「里沼」構成文化財のひとつ「茂林寺沼及び低地湿原」にて茂林寺沼湿原保護保全を目的に活動する大泉高校や関東学園大学と事業連携し、学生たちの取組み(ヨシストロー作製・里沼きくらげ栽培・カキツバタソーダ販売等のPR)に取組む。日本遺産フェスティバルin桑都・八王子・第9回群馬フェア・両毛3市子どもサミット等でのPR・ワークショップブース出展等も実施した。

- PR:日本遺産フェスティバルin桑都・八王子 令和5年11月4日(土)・11月5日(日)
第9回群馬フェア 令和5年11月8日(水)～11月12日(日)
両毛3市子どもサミット 令和6年2月18日(日)

■連携:群馬県立大泉高等学校(植物バイオ研究部・微生物バイオ研究部)、関東学園大学RCV(地域活性協力隊)

[2]田山花袋作品朗読プロジェクト

■内容:館林市が誇る文豪田山花袋が遺した文学作品のうち、「里沼」関連の作品を中心に市内高校生による朗読発表会を開催。花袋作品を通じて高校生の人材育成を図るとともに、若い世代への魅力発信を行った。

【田山花袋作品朗読プロジェクト_朗読発表会】

■期間:令和6年3月10日(日) 14:00-15:00 ■会場:館林市立図書館2F 視聴覚室 ◆参加者:50名 ※事前練習会実施(全4回)、発表会音源を録音し今後の事業にて活用予定

概要



事業費 626,055円

4 館林市「日本遺産」展示会開催事業【普及啓発事業：文化振興課】

日本遺産「里沼」PR、ストーリー普及を目的とし、市内外で移動展示会を開催した。また日本遺産フェスティバルin桑都・八王子に合わせ、館林市文化会館市民サロンを会場に関東地域の「日本遺産」大集結！展示会を開催し、来場者へ「里沼」ストーリーの普及とともに関東地域の日本遺産認定地間の連携強化を図った。

◆移動展示会 全12箇所 見学者合計79,500名

- ①館林市第一資料館 [令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)] (7,000名)
- ②館林市第二資料館 [令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)] (12,200名)
- ③鷹匠町武家屋敷「武鷹館」[令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)] (5,400名)
- ④関東地域の「日本遺産」大集結！展 [令和5年7月22日(土)～令和6年1月27日(金)] 館林市文化会館市民サロン (23,900名)
- ⑤館林七夕まつり [令和5年8月7日(月)] 館林市内下町通り (500名)
- ⑥渡良瀬遊水地フェスティバル [令和5年10月8日(日)] 渡良瀬遊水地谷中湖北ブロック (500名)
- ⑦地方史研究協議会館林大会 [令和5年10月21日(土)] 館林市三の丸芸術ホール(300名)
- ⑧第9回群馬フェア [令和5年11月8日(水)～12日(日)] イオンモール太田1階 (ブース来場者25,000名)
- ⑨日本遺産フェスティバルin桑都・八王子 [令和5年11月4日(土)・5日(日)] 東京たま未来メッセ1階・3階 (ブース来場者数3,000名)
- ⑩館林織物「つまみ細工」体験教室 [令和5年11月22日(水)] 館林市三の丸芸術ホール(100名)
- ⑪日本遺産の日イベント [令和6年2月10日(土)～12日(月・祝)] JR有楽町駅前広場 (ブース来場者1,500名)
- ⑫両毛3市子どもサミット [令和6年2月18日(日)] アゼリアモール内アゼリアホール(100名)

概要



事業費 1,539,162円

5 館林市「日本遺産」シンポジウム開催事業【普及啓発事業：文化振興課】

令和2年度から引続き、館林市の近隣で日本遺産に認定となっている両毛地域3市の群馬県桐生市・栃木県足利市と連携して今後の日本遺産の魅力発信につなげるためのシンポジウムを開催した。令和5年度は、館林市をホスト市として、両毛3市で活躍することもたちにスポットを当てた両毛3市日本遺産こどもサミットを開催。

[1]両毛3市日本遺産こどもサミット

『好きです！日本遺産のある わたしたちのふるさと』

[第1部]こどもたちによる発表「紹介します！わたしのまちの日本遺産」

コーディネーター:熊倉浩靖氏(館林市「日本遺産」推進協議会委員/高崎商科大学特任教授)

発表者:館林市_向井千秋記念子ども科学館科学クラブ「里沼コース」

桐生市_未来創生塾「日本遺産講座(実践ガイド)」

足利市_史跡足利学校「こども釋奠」

[第2部]パネルディスカッション「日本遺産が育むこどもたちの“郷土愛”」

コーディネーター:熊倉浩靖氏(館林市「日本遺産」推進協議会委員/高崎商科大学特任教授)

パネリスト:館林市_向井千秋記念子ども科学館科学クラブ担当教員2名

桐生市_未来創生塾塾長

足利市_足利市教育委員会職員2名

[日本遺産PRブース]

・桐生市:かかあ天下ぐんまの絹物語PRブース

・足利市:近世日本の教育遺産群PRブース

概要
・館林市:「里沼」PRブース、「里沼」事業連携PRブース(群馬県立大泉高等学校、関東学園大学、合同会社紬・組、堀工町どんど焼き保存会、上三林ささら保存会)

[日本遺産マルシェ]

・館林紬関連商品、燕子花(カキツバタ)ソーダ販売

■期日:令和6年2月18日(日)13:30-15:30 ■会場:アゼリアモール内アゼリアホール

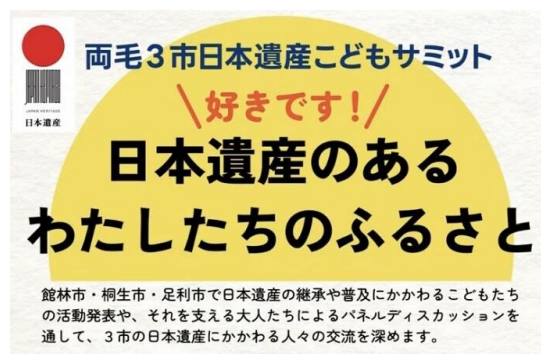
■参加者:100名

※当日の様子をYouTube館林市公式動画チャンネルにてアーカイブ配信中

→令和5年度館林市日本遺産シンポジウム

両毛3市日本遺産こどもサミット

『好きです！日本遺産のあるわたしたちのふるさと』



事業費 1,808,553円

6 館林市「日本遺産」Webサイト開設事業【情報発信事業：文化振興課】

館林市「日本遺産」Webサイトを開設し、ストーリーや構成文化財の諸情報のほか、観光やアクセスマップ及び便利施設などの関連情報を公開し、国内外に向けて積極的なPRを実施する事業。令和2・3年度で英語、繁体字、簡体字、タイ語、スペイン語の多言語化を実施し、地域活性化計画に位置付けたターゲットへの対応が完了した。令和5年度は、サイト上での既存動画・パンフレットデータの更新を行うとともに、「里沼」情報投稿サイト『わたしの里沼』を整備した。

[1]里沼公式Webサイトコンテンツ構築事業

■内容:令和元年度に開設した日本遺産「里沼」公式Webサイト(通称「SATO-NUMA.JP」)を多言語化(英語・繁体字・簡体字・タイ語・スペイン語)し、海外からの来訪者に対しストーリーや構成文化財の情報を分かりやすく公開するとともに、既に公開している観光やアクセスマップ及び便利施設などの関連コンテンツを構築することにより、国内外に向けて最新の情報を積極的にPRした。Webサイトでは、館林市「里沼」の魅力や特色が十分伝わり、必要な情報がどこにあるのか分かりやすく、見やすい構成・ユニバーサルなデザインであること目指し、トップページ以下、「里沼とは?」「館林の里沼」「里沼を巡る」「里沼を遊ぶ」「みんなの里沼」「お知らせ」の階層を設け、可能な限り画像を多くかつ効果的に使用し、閲覧者の視覚に訴えることに重点を置き、動画の配信にも対応した。令和5年度より新たに「里沼」情報投稿サイト『わたしの里沼』ページを整備し、市内外を問わず「里沼」を訪れた多くの方からの「里沼」画像や蘊蓄を随時募集中。

■サイト名:日本遺産「里沼」公式Webサイト(通称「SATO-NUMA.JP」)

■URL:<https://sato-numa.jp/>

概要



📷 あなたの投稿を大募集!

「里沼の魅力を発信したい!」「里沼のこんなところを知ってほしい!」という方、ぜひ、あなたの知っている「里沼」を多くの方に伝えてみませんか?『わたしの里沼』では、皆さまが知っている里沼の魅力は大募集しています。「里沼」への熱い想いを心よりお待ちしております。下記フォームより投稿をお願いします。 ※皆さまからのご投稿は事前審査の後、「みんなの里沼」ページにて公開させていただきます。ご了承ください。

[投稿フォーム >](#)



事業費 498,592円

8 案内板・サイン整備改修事業【活用整備事業：文化振興課】

来訪者が「里沼」のストーリーや各構成文化財について理解を深められるように案内板等を整備する事業。

[1]館林市第一資料館展示会案内サイン改修委託業務

館林市第一資料館展示会案内サインを改修し、日本遺産「里沼」構成文化財を所蔵・公開する施設であること及び日本遺産「里沼」関連展示会開催情報を明確にすることで、資料館来訪者数向上に繋げた。

■設置:屋外用サイン(W2,740×H910mm)

■数量:1基

[2]茂林寺沼湿原掲示板製作・設置委託業務

茂林寺敷地内において日本遺産「里沼」構成文化財のひとつである茂林寺沼湿原の保護保全及び普及啓発活動用の掲示板を製作・新設することで、祈りの沼・茂林寺沼来訪者へ「里沼」事業の周知を図った。

■設置:屋外掲示板(W1,400mm×H1,800mm)

■数量:1基

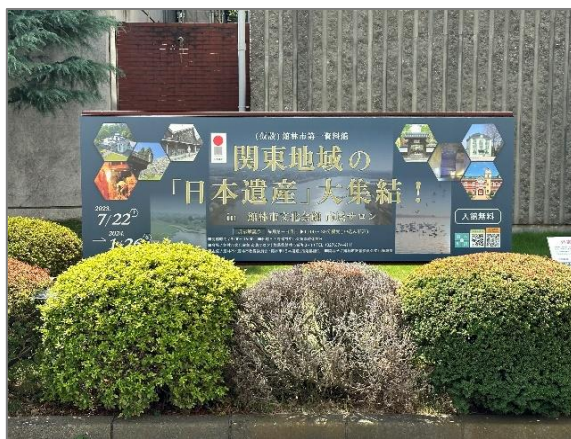
[3]日本遺産「里沼」構成文化財サイン設置委託業務

館林城本丸跡に日本遺産「里沼」構成文化財であることを明示するサインを新設し、来訪者へ館林城跡と「里沼」の繋がりを伝えた。

■設置:屋外用サイン ①八幡宮(総W1,200mm×H2,000mm)

屋外用サイン②溝状遺構(総W1,200mm×H2,000mm)

■数量:各1基



事業費 954,360円

9 館林市まちじゅう「日本遺産」PR事業【活用整備事業：文化振興課】

「館林市まちじゅう『日本遺産』PR大作戦」と称し、市内商店街・大型商業店舗及び民間事業者等への幟旗を設置し日本遺産「里沼」をPRするとともに、地域の一体感を醸成する事業を実施した。

[1]科学館プラネタリウム投影用「里沼」PR動画制作委託業務

向井千秋記念子ども科学館と連携し、プラネタリウムで投影する日本遺産「里沼」PR用全天周動画を制作し、科学館来場者へ観覧いただくことで、「里沼」に基づくシビックプライドの醸成や地域活性化を図った。

■制作:科学館プラネタリウム投影用「里沼」PR動画

[2]日本遺産「里沼」オリジナルクリアファイル製作委託業務

「里沼」オリジナルクリアファイルを作成・一般配布することで、日本遺産「里沼」の認知度向上及び専用QRコードによる公式Webサイト・Twitterへの誘導を図った。

■製作:W220×H310mm フルカラー 5,000枚

[3]日本遺産「里沼」PR横断幕製作委託業務

日本遺産「里沼」PR横断幕を製作し、市内歩道橋各所(市外→市内方向)へ取付・設置することで、日本遺産「里沼」認知度及び来訪者数向上を図った。(※全3箇所)

■製作:①館林市青柳第二歩道橋 W7,000mm×H900mm×1枚

②館林市成島南歩道橋 W7,000mm×H600mm×1枚

③館林市高根歩道橋 W6,000mm×H900mm×1枚

[4]日本遺産「里沼」幟旗製作委託業務

概要 「里沼」PRを目的とした幟旗の製作・配付を実施。市内小・中学校や公民館、構成文化財所有者、管理者等へ配付する他、各種PRイベント開催時に積極的に活用することで市内外へ「里沼」PRを行った。

■製作:幟旗(W600×H1,800mm)260枚+ポール70本+タンク20台

■主な配付先:市内小・中学校・構成文化財関係者・イベント関係 他



事業費 1,305,740円

10 館林市「日本遺産」Wi-Fi環境整備事業【活用整備事業：文化振興課】

概要

将来的なARコンテンツ拡大に向けて、拠点見学施設へのWi-Fi環境を整備する事業。

[1]日本遺産「里沼」ARシステム運用委託業務

館林市に存在する日本遺産「里沼」構成文化財への来訪者誘致及び市内エリア回遊性の強化を目指し、「里沼」とそのストーリーや魅力の理解促進を図るため、AR里沼コンテンツの運用を実施した。ARコンテンツに次世代の若者の意見・検討を取り入れたうえで、「里沼」の魅力発信や観光・まちづくりの観点から市内の地域活性・観光振興に資するツールを制作するもので、館林市「里沼」の普及促進を図った。

■現在までに整備したAR「里沼」コンテンツ:全15種類

- [①茂林寺、②上三林ささら、③内陸古砂丘、④多々良沼漁港、⑤城沼3Dマップ、⑥善長寺(つつじが岡対岸)、⑦善導寺(榊原康政の墓)、⑧第二資料館、⑨旧二業見番組合事務所、⑩竜の井・青龍の井戸、⑪茂林寺沼AR3Dマップ、⑫多々良沼AR3Dマップ、⑬善長寺(祥室院殿の墓、お辻・松女の墓)、⑭旧秋元別邸、⑮東武鉄道館林駅]

[2]日本遺産「里沼」AR用多言語コンテンツ制作委託業務

日本遺産「里沼」パンフレットをベースにした多言語化(英語・繁体字・簡体字・タイ語・スペイン語)を行い、今後ARコンテンツを外国人旅行者まで拡充していくうえでストーリー解説などの基本的内容の多言語化・多文化化の体制を整備した。

※対象言語:英語、繁体字、簡体字、タイ語、スペイン語



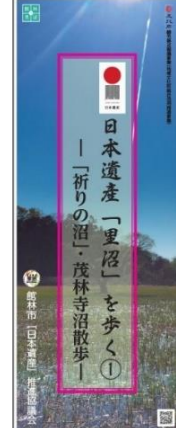
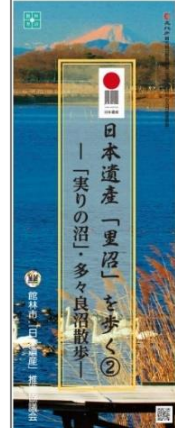
[3]Wi-Fi環境維持

日本遺産認定以後整備してきた、日本遺産「里沼」拠点見学施設等へのWi-Fi環境を維持することで、各所に貼付してあるQRコード等とともに、「里沼」公式Webサイト上の構成文化財情報検索、AR里沼等の利便性を向上させた。

■設置場所:館林市第一資料館、第二資料館、田山花袋記念文学館、多々良沼野鳥観察棟



事業費 1,549,460円

概要	<p>[1]「里沼の歴史的建造物」パンフレット増刷業務 日本遺産「里沼」構成文化財のうち、旧館林二業見番組合事務所・旧館林藩士住宅・田山花袋旧居・旧秋元別邸など歴史的な建造物にスポットを当てたパンフレットを印刷作成。関連施設に常設することで「里沼」ストーリーの発信に繋がった。 ■発行:A5判×16頁(オールカラー) ■数量:6,000部</p> <p>[2]日本遺産「里沼」(祈りの沼・茂林寺沼)を歩く増刷業務 日本遺産「里沼」構成文化財のうち「祈りの沼・茂林寺沼エリア」にスポットを当てた散策マップを増刷。「祈りの沼・茂林寺沼」の詳細ストーリーと構成文化財を掲載し、WEBサイトのQRコードも入込むなど、データ連動ができるよう配慮した。 ■発行:特殊W750×H250mm(折本)×両面(オールカラー) ■数量:20,000部</p> <p>[3]館林市観光ガイドブック(TATEBAYASHI TRIP)増刷業務 令和元年発行した館林市観光ガイドブック(TATEBAYASHI TRIP)をベースに新たに追加認定となった構成文化財をはじめとする新たなコンテンツを盛り込み、更なる観光客誘致に向けたガイドブックの印刷・発行を行った。当該ガイドブックについては、市内各拠点・店舗等のほか、日本遺産イベント、観光イベント等でも配布している。 ■発行:B5判×32頁(オールカラー) ■数量:20,000部</p> <p>[4]日本遺産「里沼」パンフレット(多言語版)印刷業務 日本遺産「里沼」パンフレットをベースに多言語版(英語・繁体字・簡体字・タイ語・スペイン語)を発行。外国人旅行者に対して、「里沼」ストーリーを伝える新たなツールを構築したことで、満足度向上へと繋がった。 ■発行:A3判×2頁(オールカラー) ※対応言語:英語、繁体字、簡体字、タイ語、スペイン語 ■数量:英語_3,000部、繁体字_1,000部、簡体字_1,000部、タイ語_1,000部、スペイン語_1,000部</p> <p>[5]日本遺産「里沼」(実りの沼・多々良沼)を歩く増刷業務 日本遺産「里沼」構成文化財のうち「実りの沼・多々良沼エリア」にスポットを当てた散策マップを増刷。「実りの沼・多々良沼」の詳細ストーリーと構成文化財を掲載し、WEBサイトのQRコードも入込むなど、データ連動ができるよう配慮した。 ■発行:特殊W750×H250mm(折本)×両面(オールカラー) ■数量:10,000部</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">     </div>
事業費	2,410,100円

令和5年度収支決算報告について

【収入の部】

(単位：円)

科目	補助金交付後 予算額(A)	決算額 (B)	備考
補助金	13,000,000	13,000,000	
国庫支出金	0	0	
市補助金	13,000,000	13,000,000	
貸付金	0	0	
雑入	1,000	44,585	講座参加費・預金利息等
合計	13,001,000	13,044,585	

【支出の部】

(単位：円)

科目	予算現額 (C)	決算額 (D)	不用額 (D) - (C)	備考
事業費	12,000,000	11,971,802	28,198	別紙「令和5年度主要事業報告」のとおり
人材育成事業	1,909,000	1,905,835	3,165	
普及啓発事業	3,352,000	3,347,715	4,285	
情報発信事業	2,911,000	2,908,692	2,308	
活用整備事業	3,828,000	3,809,560	18,440	
事務費	1,000,000	988,658	11,342	
貸付金返還費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
合計	13,000,000	12,960,460	39,540	

収支差引額	収入決算額(B)	13,044,585円
	支出決算額(D)	12,960,460円
	差引(B)-(D)	84,125円 ※市へ全額戻入

【参考】市補助金戻入額	【収入の部】雑入	44,585円
	【支出の部】不用額	39,540円
	雑入+不用額	84,125円

監 査 報 告 書

令和5年度館林市「日本遺産」推進協議会の収入支出決算について、館林市「日本遺産」推進協議会規約第7条第3項の規定に基づき、会計諸帳簿及び証ひょう書類を監査した結果、いずれも適正に処理されていたことを確認しました。

令和6年5月24日

館林市「日本遺産」推進協議会

監事 荒井清範 

監事 前澤和之 

報告事項その1

令和6年度事業計画について

期日	事業内容	備考
4月1日 ～3月31日	各事業実施 ・人材育成事業 ・普及啓発事業 ・情報発信事業 ・活用整備事業 「里沼」講座・ワークショップ実施(民間活動者と連携) 各種イベント等によるPRブース出展	別紙「令和6年度事業概要(事業費の内訳)」のとおり
6月	第1回館林市「日本遺産」推進協議会 ・令和5年度事業報告について ・令和5年度収支決算報告について	館林市文化会館
10月	日本遺産フェスティバルin極上の会津 ・PRブース出展及びワークショップ	福島県会津若松市
1月	※令和7年度日本遺産総括評価・継続審査に向けた書類作成	1月～3月
2月	日本遺産の日イベント2025 ・PR及び物販ブース出展 日本遺産「里沼」セミナー ・沼を活かしたまちづくりを担うプレーヤー育成のための講座開催 両毛3市日本遺産シンポジウム	東京都千代田区 館林市文化会館 桐生市
3月	第2回館林市「日本遺産」推進協議会 ・令和7年度事業計画(案)について ・令和7年度収支予算(案)について ※令和7年度日本遺産総括評価・継続審査書類提出 4月:書類審査、5月-6月:現地視察、7月:審査結果公表	書面による開催

※先進地視察等によるヒアリング結果を踏まえた想定(参考)

令和6年度 事業概要（事業費の内訳）

■歴史文化部会

9,300 千円

(1) 「里沼」ランドナビゲーター育成支援事業【人材育成事業：文化振興課】

[概要]

500 千円

既存ガイド団体等と連携しながら日本遺産「里沼」の魅力を発信し、館林市内観光を総合的にプロデュースする人材として育成する事業。令和元年度でインバウンドに焦点を当てたガイド育成講座、令和2年度は里沼ランドナビゲーター育成講座(応用編)・里沼ガイド講習会(茂林寺沼編)、令和3年度は英語ガイド講習会を実施した。令和5・6年度にかけて日本遺産「里沼」を支えるランドナビゲーターとなる人材を発掘・育成するためのステップアップ講座を開催。(令和5年度は「里沼」構成文化財(善導寺・善長寺・尾曳稻荷神社)にて全3回開催)

観光分野の専門家及び民間事業者とともに他地域視察等も実施予定。

また、ランドナビゲーター間及びランドナビゲーターと民間事業者間におけるパイプ構築によりもてなしの方法(ナビゲート等)のスキルアップにも取り組むものとする。

(2) 館林市「日本遺産」地域プロデューサー活動支援事業【人材育成事業：文化振興課】

[概要]

1,000 千円

館林市「日本遺産」地域プロデューサーの活動を支援し、情報発信・地域活性化・人材育成・観光・地場産業・歴史文化・地域特色(里沼)における分野の事業展開を促進する。令和元年度に策定した全体計画に基づき、令和2年度以降各分野での事業展開を図りながら、地域住民が館林市「日本遺産」に係る各事業に参加しやすい環境を整える。令和6年度の具体的事業としては、(1)高校生・大学生をターゲットにした「里沼」体感講座による次世代の担い手発掘・育成、(2)中学生による英語での日本遺産の解説作成(中学生海外派遣事業)の関連として、中学生に館林市「里沼」を紹介する平易な英文を考えてもらい、ガイドの様子をYouTube等で発信)、(3)「里沼」構成文化財案内動画を制作しYouTubeにて公開、(4)「里沼」のヨシなどを活用した商品造成・ワークショッププログラムの構築を行う。また構成文化財解説動画作成等によりWebを起点とする情報発信活動も実施しながら、各種メディアともリンクした柔軟な事業展開を図る。

(3) 官学連携「SATO-NUMA」事業【人材育成事業：文化振興課】

[概要]

500 千円

地元高校・大学(学生・留学生)と連携し、若者・外国人の意見を反映させながら、解説方法・内容をそれぞれの視点で検討するワークショップを開催する。当該ワークショップには地元活動者も参画し、館林市「里沼」の魅力を伝える担い手の充実を図る。

“祈りの沼”・茂林寺沼を拠点に活動する地元高校生や大学生等とともに茂林寺沼低地湿原の保護保全に関する取り組みを行いながら、活用面についても検討を進めることで人と「里沼」が作用しあう持続可能な体系の構築を図る。

また、地域事業者や大学生等と連携した「里沼」(当面は沼ごと)の周遊ツール創出の検討を行う。

(4) 館林市「日本遺産」展示会開催事業【普及啓発事業：文化振興課】

[概要]

1,000 千円

近隣・首都圏でのPR展示会[両毛地域、首都圏主要駅等]や館林市内巡回展[学校・公民館等公共施設]へも引続き積極的に出展し、市内外に向けた日本遺産「里沼」の普及啓発を行う。また、認定後5年経過し、「里沼」で活躍する人・団体にスポットを当てた展示会を開催することで、「里沼」に対する認知度及び愛着度向上・ストーリー浸透の強化を図る。各沼におけるストーリー普及を図るうえで拠点施設となるサテライト展示会場においても展示物の充実を図るとともにネイティブ目線での多言語化対応にも取り組む。

(5) 館林市「日本遺産」シンポジウム開催事業【普及啓発事業：文化振興課】

[概要]

1,300 千円

近隣認定自治体やストーリーに関連のある自治体と連携して令和元年度に日本遺産「里沼」シンポジウム、令和2年度以降両毛3市(桐生市・足利市・館林市)による日本遺産認定地連携シンポジウムを実施している。令和6年度も、引続き両毛3市連携によるシンポジウムを開催する。(会場:桐生市)

また、館林市単独でも日本遺産「里沼」セミナーを開催し、沼を活かしたまちづくりを担うプレイヤー育成へと繋げる。セミナー開催にあたっては、YouTubeによるライブ及びアーカイブ配信も行い、多くの人が見聴可能できるように配慮する。

《日本遺産「里沼」セミナー》

会場:館林市文化会館小ホール

参加者:100名予定

(6) 館林市「日本遺産」Webサイト開設事業【情報発信事業：文化振興課】

[概要]

500 千円

館林市「日本遺産」Webサイトを開設し、ストーリーや構成文化財の諸情報のほか、観光やアクセスマップ及び利便施設などの関連情報を公開し、国内外に向けての積極的なPRを行う事業。単なる開設に留まらず、動画配信や多言語対応化に重点を置くもの。特に来訪予定者の「旅マエ」での事前期待や動機付けの増大を目的とし、SNSとリンクしたサイトの整備を進める。また外国人来訪者のターゲット層を絞り込みながら、欧州「EUROPEAN ROUTE INDUSTRIAL HERITAGE」等のサイトを参考に、利用者目線での整備や素材集約に努める。令和6年度は、過去に積み上げてきた内容を継続・発展させ、各コンテンツの強化や画像・動画更新、取材記事導入による旅マエ誘客の充実、リピート増加のための旅アトコミュニケーションツール(わたしの里沼)の導入及びツールの磨き上げに取り組む。コミュニケーションツール導入に伴い、「里沼」事業に関するユニークなアイデアの募集や蘊蓄の蓄積など、市内外の多様な層の「里沼」への親近感や事業への参加意識・主体性の向上に繋げる。

(7) 館林市「日本遺産」案内板・サイン整備改修事業【活用整備事業：文化振興課】

[概要]

1,000 千円

来訪者の多いつつじが岡公園をはじめとする「里沼」全エリア(市全域)において、「里沼」ストーリー案内サインを設置。案内板デザインは大学・地元イラストレーター等と連携し進める。“祈りの沼”・茂林寺沼の玄関口となる東武鉄道「茂林寺前駅」の駅舎改修工事に合わせて、茂林寺駅前の「里沼」ストーリー普及及び現地誘導案内板を整備する。

また、つつじが岡公園をはじめとする里沼のもてなし文化エリア(館林駅東西口～つつじが岡公園区間)において、「里沼」誘導サインを設置する。

外国人来訪者の多い施設(駅周辺及びサテライト展示会場付近)の多言語化にも取り組む。

(8) 館林市まちじゅう「日本遺産」PR事業【活用整備事業：文化振興課】

[概要]

1,500 千円

「館林市まちじゅう『日本遺産』PR大作戦」と称し、市内商店街・大型商業店舗及び民間事業者等への幟旗・タペストリー・ステッカーを設置し「日本遺産」をPRするとともに、地域の一体感を醸成する事業。各媒体にQRコードを貼付し、クロスメディアによる来訪者の「いいね」や感想等による口コミ効果も狙う。また、経年劣化等による補充や新規協力団体への新規・追加配布により視覚的な連帯感も創出する。また、関東地域の日本遺産認定地と連携し、マイクロツーリズムを意識した効果的な「里沼」ストーリーの普及啓発を行う。公式WebサイトやX(旧Twitter)用ステッカーを作成することで、来訪者に対しリアルタイムでの情報提供に繋げる。

(9) 館林市「日本遺産」AR・Wi-Fi整備事業【活用整備事業：文化振興課】

[概要]

2,000 千円

各沼の拠点施設に設置したWi-Fi環境を維持するとともに、「日本遺産」ストーリー情報入手を目的として導入したARコンテンツ内容をより充実させ「里沼」ストーリーの理解促進を図る。ARアプリ機能を活用し、各沼の周遊性を高めるコンテンツの作成やフライヤー等によるコンテンツ周知を行う。事業開始以降、大学(東京電機大学)関係事業者と連携し過去5年間AR事業を実施してきた。令和6年度は、日本遺産認定後「里沼」掘り下げ調査等により蓄積した新たな情報のコンテンツ化を図ることで、利用者の満足度向上へと繋げる。

■観光産業部会

2,700 千円

(1) 館林市「日本遺産」パンフレット作成・多言語化事業【情報発信事業：つつじのまち観光課】

[概要]

2,700 千円

日本遺産認定以降作成を進めてきた「里沼」関連パンフレットについて過去の配布実績等进行分析・精査したうえで、掲載内容を最新版に改訂し印刷を行う。公共施設をはじめサテライト展示会場、「里沼」構成文化財関連施設、商業施設などの集客施設にて十分に設置・配布することで、来訪者への「里沼」ストーリーの浸透及び周遊度・充実度向上に繋げる。

外国人来訪者(英語・繁体字・簡体字・タイ語・スペイン語圏)に対してもネイティブ目線での多言語化に取り組むことで、インバウンドも含めた観光誘客を促進及び満足度向上を図る。

また、市内在住イラストレーターと連携したイラスト周遊マップの印刷・発行を行う。

茂林寺沼・多々良沼・城沼などイラストによる周遊マップを発行し、幅広い来訪者を見込む。

報告事項その2

令和6年度収支予算について

【収入の部】

(単位：千円)

科目	本年度当初 予算額(A)	前年度当初 予算額(B)	比較増減額 (A)-(B)	備考
補助金	13,000	13,000	0	
国庫支出金	0	0	0	
市補助金	13,000	13,000	0	一部中央信用金庫からの寄附金充当
貸付金	0	0	0	
雑入	1	1	0	預金利子等
合計	13,001	13,001	0	

【支出の部】

(単位：千円)

科目	本年度当初 予算額(E)	前年度当初 予算額(F)	比較増減額 (E)-(F)	備考
事業費	12,000	12,000	0	別紙「令和6年度事業概要(事業費の内訳)」のとおり
人材育成事業	2,000	2,000	0	
普及啓発事業	2,300	3,000	△700	
調査研究事業	0	0	0	
情報発信事業	3,200	2,500	700	
活用整備事業	4,500	4,500	0	
その他事業	0	0	0	
事務費	1,000	1,000	0	報償費、旅費、通信費等
貸付金返還費	0	0	0	市貸付金返還
予備費	1	1	0	
合計	13,001	13,001	0	



館 林 の 里 沼

SATO-NUMA.JP

館林市「日本遺産」推進協議会

